

(様式1)

青森県立保健大学と団体との協働事業平成 29 年度協働事業評価シート

■協働事業概要

事業名	子育て応援ルーム(多世代交流広場)ココかれっじ 事業													
大学担当教員/課	看護学科 准教授 佐藤愛 / 地域連携推進課													
団体	特定非営利活動法人子育て応援隊ココネットあおもり													
事業内容	<p>【事業目的】</p> <p>①子育て中の保護者に寄り添うことで、青森の将来を担う子どもたちの健全な育ちを支える。</p> <p>②母親同士や多世代交流を通して子育て中の女性が前向きになり、その事が地域の活性化と社会で子どもを育てる環境づくりを構築する。</p> <p>③ココかれっじをスタッフの人材育成の場とし、また将来子育てを支援する側で活躍するロールモデルとして提示する。</p> <p>【内容】</p> <p>・大学施設を利用し、月3回(第2・第3・第4水曜日、祝日を除く)10:00~16:00まで、広場の開設と月1回(第1又は第5水曜日)にスタッフ研修を実施する。</p> <p>・広場開設に合わせて奇数月の第4水曜日には、保護者向けの託児付ミニ講座を開催する。</p> <p>・大学祭に参加し、活動の周知と交流を図る。</p> <p>具体的には、ボランティアスタッフが常駐し、親子が気軽に利用できる雰囲気づくりに努め、子育て中のストレス解消につながるような寄り添いと傾聴で支援する。</p> <p>ミニ講座・ミニイベントは、奇数月に大学関係者の協力のもと、子育てや健康管理、コミュニケーションなど、生活に役立つことを学ぶ。偶数月は、ココネットスタッフや地域の有償ボランティアが、親子で楽しめるようなちよつとしたイベントを企画する。</p> <p>大学祭では、親子で楽しめるようなワークショップと、コーヒーや手作り品・リサイクル品販売の企画運営をする。</p> <p>偶数月のミニイベントや大学祭のワークショップに数名の学生ボランティアを募り、イベントに協力してもらいながら親子とふれあえる機会(多世代交流)にする。</p> <p>【役割分担】</p> <table border="1"><thead><tr><th>事業項目</th><th>団体の役割</th><th>保健大学の役割</th></tr></thead><tbody><tr><td>青森県立保健大学を会場とした交流広場を開設</td><td>1 会場の設営、原状回復 2 甲スタッフによる運営 3 利用者の安全確保</td><td>1 必要な設備を提供(光熱費以外の電話機、コピー機等ランニングコストが発生するものは除く) 2 鍵を含む交流広場の管理</td></tr><tr><td>子育てを中心とした学びの場を提供</td><td>1 イベント、勉強会等の企画及び実施 2 周知、啓発活動</td><td>1 教員による専門知識の提供 2 学生ボランティアの参加 3 周知協力</td></tr><tr><td>その他事業の実施にあたり必要となること</td><td>1 利用者のニーズを踏まえた事業展開の検討</td><td>1 情報公開及び説明責任に関する業務</td></tr></tbody></table>		事業項目	団体の役割	保健大学の役割	青森県立保健大学を会場とした交流広場を開設	1 会場の設営、原状回復 2 甲スタッフによる運営 3 利用者の安全確保	1 必要な設備を提供(光熱費以外の電話機、コピー機等ランニングコストが発生するものは除く) 2 鍵を含む交流広場の管理	子育てを中心とした学びの場を提供	1 イベント、勉強会等の企画及び実施 2 周知、啓発活動	1 教員による専門知識の提供 2 学生ボランティアの参加 3 周知協力	その他事業の実施にあたり必要となること	1 利用者のニーズを踏まえた事業展開の検討	1 情報公開及び説明責任に関する業務
事業項目	団体の役割	保健大学の役割												
青森県立保健大学を会場とした交流広場を開設	1 会場の設営、原状回復 2 甲スタッフによる運営 3 利用者の安全確保	1 必要な設備を提供(光熱費以外の電話機、コピー機等ランニングコストが発生するものは除く) 2 鍵を含む交流広場の管理												
子育てを中心とした学びの場を提供	1 イベント、勉強会等の企画及び実施 2 周知、啓発活動	1 教員による専門知識の提供 2 学生ボランティアの参加 3 周知協力												
その他事業の実施にあたり必要となること	1 利用者のニーズを踏まえた事業展開の検討	1 情報公開及び説明責任に関する業務												
実施(契約)期間	平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日 【 <u>継続事業</u> ・新規事業 】													
予算額	<p>【ココネットあおもり負担】</p> <p>消耗品費:¥15,000⇒(チラシ印刷用紙等)</p> <p>【県立保健大学負担】</p> <p>謝金:¥17,000⇒(ワークショップ:講師謝金)</p> <p>交通費:¥44,000⇒(ワークショップ:講師旅費(東京1泊2日))</p> <p>委託費:¥33,000⇒(シッター代¥1,100×6人×5回)</p>													
実績(※事業継続中の場合は、12月1時点の実績を記載)	※別紙参照													

(様式1)

■プロセス評価（実施中の場合は、12月1日時点での評価）

※下記の項目について、該当する番号を評価欄に記入してください。

評価… A:よくできた B:ある程度できた C:あまりできなかった D:できなかった
E:該当しない

「E」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

		評価欄		
		団体	大学	
事業実施前	1	協働で事業を実施する目的を両者で確認したか。	A	A
	2	事業の成果目標を協議のうえ決定したか。	A	A
	3	具体的な企画内容や実施内容を協議のうえ決定したか。	A	A
	4	事業を進めるための役割分担を協議のうえ決定したか。	A	A
	5	成果物(著作物)の帰属や公表、また、その活用の方法について協議したか。	B	E
事業実施段階	6	事業の進捗状況や必要な情報について共有化できたか。	A	A
	7	相手の得意な分野や弱い分野を理解し、協力しながら事業を進めることができたか。	A	A
	8	事業を進めるにあたり状況の変化に応じて、協議しながら柔軟な対応ができたか。	A	A
	9	お互いの機能を生かし、必要に応じて市民への参画を呼びかけたか。	A	A
事業成果や波及効果	10	事業の成果目標は達成できたか。	A	B
	11	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がったか。	A	A
	12	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしたか。	A	B
	13	事業の結果(成果)などを広く情報提供したか。(予定がある場合も含む)	A	B
	14	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参画機会が広がったか。	A	B
	15	経費の見積は適切だったか。	A	A
	16	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われたか。	A	A
総合評価			A	A

「E:該当しない」を選択した場合は、その理由を記入してください。

団 体	
番号	理 由

大 学	
番号	理 由
5	成果物が生じていないため。

(様式1)

■成果と課題点

団 体	
協働することで成果があった点	課 題 点
<ul style="list-style-type: none">・地域の子育て世代に大学が地域貢献していること(気軽に利用できることなど)が周知された。・ココかれっじの利用者が学食を利用する機会が増え、子ども用の食器等が準備された。・学生のボランティア参加が増えた。・夏休みには地域の高校生がボランティア活動として英語の本の読み聞かせをした。・大学と協働で広場を実施することで、団体としての信頼度が上がった。	<ul style="list-style-type: none">・今年度はミニ講座を1階の会議室で行ったが、参加者から託児の子どもたちの泣き声が気になるとの声があった。

大 学	
協働することで成果があった点	課 題 点
<ul style="list-style-type: none">・大学の役割である「教員による専門知識の提供」については順調に遂行できた。・ミニ講座の講師を担当することで教員の社会貢献に寄与できた。・学生が乳幼児と触れ合う機会が得られた。	<ul style="list-style-type: none">・昨年度に比べると「学生ボランティアの参加」の機会を増やすことができたが、まだまだ学生の認知度が低いと考える。

(別紙)

子育て応援ルーム（多世代交流広場）ココかれっじ 平成 29 年度実績（12/1 現在）

NPO 法人子育て応援隊ココネットあおもり

実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～12 月 1 日

実施回数：4 月～11 月 24 回

利用者数：1,063 人（1 回平均 44 人）

ミニイベント：4 月 英語の歌で遊ぼう（ラボ・パーティ白取美穂さん）

6 月 新聞紙で遊ぼう（ココネットスタッフ）

8 月 オムツ交換が楽しくなる赤ちゃんタッチ（ハローベビー助産院 溝江好恵院長）

10 月 かみしばいをよもう（ココネットスタッフ）

ミニ講座：5 月 親として知っておきたいコミュニケーション（川内規会先生）

7 月 親として身につけたいコミュニケーション（川内規会先生）

9 月 子どもの英語教育について（小笠原メリッサ先生）

11 月 乳幼児期からの生活習慣（古川照美先生）

大学祭：親子ワークショップ「あらちゃんとあそぼう」（荒牧光子さん）

※あおもり子ども劇場とのコラボ企画

《ココかれっじの様子》

4 月



5 月



6 月



7 月



(別紙)

8月



9月



10月



10月・大学祭



11月

